

2013年9月30日

昭和電線ホールディングス株式会社  
(コード番号 5805)

## 2013年度 昭和電線グループCSR報告書 発刊

昭和電線ホールディングス株式会社（取締役社長 相原雅憲）は、2012年度の昭和電線グループのCSR活動報告および今後の取組みを「CSR報告書2013」として取りまとめました。

今年度は、昭和電線のCSR活動をよりわかりやすく伝えるためにCSR報告書のコンテンツを制作し、ウェブサイトの充実化を行いました。このことにより、検索エンジン等で探しやすく、目次項目バナーをクリックするだけで必要なページがすぐ見れるようになりました。また、配布用に12ページのダイジェスト版を作成しております。

2012年度の活動内容は、内部統制システムの整備・運用体制の維持改善、ワーク・ライフ・バランスや次世代育成支援の取組み、ビデオカメラによる簡易リスクアセスメントの導入、生物多様性の保全として植樹活動や事業所・工場での緑のカーテンなど掲載しています。



WEB トップページ

[www.swcc.co.jp/environment/csr/2013/index.html](http://www.swcc.co.jp/environment/csr/2013/index.html)

## 【主なトピックス】

## 1. 組織統治

- ・ 独占禁止法のための定期講習会の実施
- ・ 国内外における情報セキュリティ教育の実施

## 2. 人権・労働

- ・ 次世代育成支援の拡充、ワーク・ライフ・バランスの推進

## 3. 環境

- ・ 地球温暖化防止の項目では、事業所で使用している上水ポンプのインバーター化による電力削減の事例紹介
- ・ 生物多様性の保全の項目では、植樹活動、里山づくりの実施
- ・ 第5次ボランタリープランの達成状況は、エネルギー使用量・化学物質削減など6項目で達成した。資源の有効活用のうち製造拠点でのゼロエミッションについては、9拠点のうち1拠点のみ目標未達成となった。

2012年度の環境会計は、「銅の回収、再資源により得られた収入額」が前年度より375百万円減少し、経済効果は2,702百万円となりました。

グループ全体 (単位:百万円)	2012年度		2011年度	
	投資額	費用	投資額	費用
環境保全コスト	253	772	345	716
経済効果	2,702		3,106	

以上

この件に関するお問合せは、下記宛にお願いします。

経営企画部 IR・広報グループ 03-5404-6951